

令和4年度 経営改革プラン

団体名	神戸航空貨物ターミナル株式会社	
設立年月日	平成4年4月28日	
団体の設立目的・沿革	神戸航空貨物ターミナル株式会社は、平成6年9月4日の関西国際空港の開港によって訪れた本格的な「空の時代」に対応して、西日本一円の航空貨物の物流拠点としての、荷さばき、通関、保管及び関西国際空港への集中輸送等の機能を備えた「神戸航空貨物ターミナル」を整備運営することにより、神戸港を海空陸の総合的な物流ネットワークの結節点として、さらに発展させることを目的として設立された。	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	関空への集中輸送業務（国際貨物事業）	自主事業
	施設の賃貸借（国際貨物事業、国内貨物等事業）	自主事業
	施設（神戸航空貨物ターミナル）の管理	港湾局経営課、神戸港管理事務所
代表者	代表取締役社長 東野 展也	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	取締役		監査役		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		2	2
市派遣職員	-	1	-	-		2	3
市OB職員	2	1	-	1	-		4
その他	-	7	-	1	1	-	9
合計	2	9	-	2	1	4	18

財務状況（単位：百万円）	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	36	51	△ 15
税引後当期純利益	24	35	△ 11
販売費及び一般管理費	63	66	△ 3
流動資産	456	461	△ 5
流動負債	127	137	△ 10
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	317	432	△ 115

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	航空貨物需要に対する取り組みの一層強化
ミッション②	安定した経営基盤の確立と事業運営
ミッション③	中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり

■ 短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	団体のあり方の検討
ミッション②	経常利益の確保

■ 経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減	令和元年度実績中小企業実態基本調査による業種別平均値
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	4.932	3.464	-1.5ポイント	1.721
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	10.50%	10.95%	0.5ポイント	17.83%
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	6.48%	4.60%	-1.9ポイント	2.24%
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	109.72%	104.67%	-5.0ポイント	73.61%
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	335.81%	358.51%	22.7ポイント	130.24%
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	54.96%	59.32%	4.4ポイント	39.99%
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	7.94%	5.28%	-2.7ポイント	4.49%
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	7.94%	5.28%	-2.7ポイント	-14.89%

## ■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～		
中長期的ミッション												
航空貨物需要に対する取り組みの一層強化	取扱貨物量2,600トン/年			取扱貨物量2,760トン/年			取扱貨物量3,040トン/年			取扱貨物量3,200トン/年		
安定した経営基盤の確立と事業運営	・貨物量確保に向けた営業の強化 ・効率的な集中輸送の検討・実施			・新たな収益事業の検討 ・将来の事業展開の検討			新規事業も含めた新たな事業の展開			・安定した経営基盤の確立 ・国際貨物事業収支の黒字化		
中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり	民間人材の活用			必要となる人材の検討・確保			・外部人材の積極的な活用 ・組織の活性化			事業執行体制・組織の充実		
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
団体のあり方の検討	事業の見直し・改善策の検討			関係者ヒアリング			方向性の検討・決定			関係者協議		
経常利益の確保	令和4年度事業計画の実施（事業執行体制の見直し、営業の強化等）											
							民間人材の活用（派遣社員の切り替え）					
							令和5年度事業計画策定					

## ■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す数値目標も記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貨物取扱量については、早期に新型コロナウイルス禍前（3,200トン/年）の水準に戻す。</li> <li>・貨物取扱量の確保と集中輸送の効率化に加え、国際貨物取扱事業者の誘致に努め、国際貨物事業収支の黒字化を目指す。</li> <li>・積極的な外部人材の活用により組織の活性化を図るとともに、安定した経営基盤確立のため、新たな収益事業の検討を行う。</li> </ul>
		・経営に参画する大手フォワーダー・エアライン等の民間事業者のノウハウを活用した事業運営
		・令和4年度から3か年間を目標とする中期経営計画（令和3年度策定）の実施
		・取扱貨物量増加に向けた航空貨物ターミナルの機能強化（市と連携した防災機能の強化を含む）及びインセンティブの創設検討
		・人件費を含めた管理経費の節減
		・物流業界に精通した人材の確保による営業力強化・組織の活性化

## ■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

## ■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

### （1）中長期的ミッションの達成状況

・「航空貨物需要に対する取り組みの一層強化」については、令和4年度の国際航空貨物需要のマイナス基調が続いており、当社の年間取扱貨物量も前年度比で6.6%減の2,258トンとなり、令和4年度の目標（2,600トン）達成率は87%となった。

・「安定した経営基盤の確立と事業運営」については、積極的に営業活動を行い、貨物量の確保に努めた結果、輸入の年間貨物取扱量については、当ターミナルに入居している事業者と連携し、前年度比で14.2%増の603トンとなった。また、施設賃貸については、インセンティブの創設等積極的な入居促進を図った。

・「中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり」については、長年物流業界に携わってきた人材を退職に合わせて社員として採用した（派遣職員からの切替）。

### （2）短期的ミッションの達成状況

・「団体のあり方の検討」については、経営改善の実施状況も含めて団体のあり方について取締役会で議論を行った（6月、12月、3月）。団体のあり方については、引き続いて検討していく。

・「経常利益の確保」については、業務の効率化や人件費の圧縮等を図るとともにテナントの誘致に努めた結果、令和4年度は33百万円の経常利益の確保することができた。

### （3）市政への貢献・市民への還元状況

当社は、神戸港を陸海空の総合的な物流ネットワークの結節点として、さらに発展させることを目的として設立された団体である。付加価値の高い航空貨物を扱う事業者が入居し、施設の立地条件や関西国際空港までの集中輸送は市内の荷主や利用者から評価されている。

## ■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

### （1）総合的意見

集中輸送業務の赤字が続く、上屋等施設の賃貸料収入に依存している現在の収益構造は健全ではない。引き続き収益構造の改善に努めるとともに、中長期的なミッションを踏まえた団体のあり方について、早急に検討を進めること。

### （2）数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	集中輸送業務を中心に、収益構造の改善を行うこと。
短期的ミッション	各事業を行う必要性を含めた団体のあり方について検討を進めること。
団体目標	貨物取扱量については、早期にコロナ禍前の水準（3,200トン/年）に戻せるよう貨物取扱事業者の誘致等に努めること。
市への貢献・市民への還元状況	事業者のニーズ把握に努め、効率的で利便性の高い輸送業務の利用拡大を図ること。

### （3）今後の方向性

団体の存廃も含めた検討を要する団体

継続的な見直しを要する団体

取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体